

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2297300028		
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社		
事業所名	あいの家グループホーム袋井 (東、西ユニット合同)		
所在地	静岡県袋井市堀越2-14-1		
自己評価作成日	平成24年11月1日	評価結果市町村受理日	平成24年12月14日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaiokensaku.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2010_022_kami=true&jiyosyoCd=2297300028-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社システムデザイン研究所
所在地	静岡県葵区紺屋町5-8 マルシビル6階
訪問調査日	平成24年11月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご家族様への連絡・情報の提供により、ご家族様といろいろな事を一緒に考えてさせていただきたいと思えます。
利用者様、ご家族様の望む、グループホームケアを実行できるような努力いたします。
平屋作りの為、各ユニット間の交流がしやすい上、利用者様に閉塞感を感じさせない作りになっております。ホーム周辺が住宅に囲まれており、施設の目の前に公園があり散歩を利用者様が楽しんでます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

物流拠点の好立地、東名袋井インターや国一バイパスに至近ながら、住宅や公園に囲まれた場所に事業所はあります。付近にはホームセンター、飲食店など嗜好資源が豊富で、時々訪れるカラオケは利用者の楽しみになっています。着任3ヶ月ほどしかない管理者は市の担当者にも既に数回訪問し、また職員個別面談もおこない、積極的な取り組み姿勢に好感がもたれます。
事業所では従来から、敷地内での豚汁パーティー、目の前の公園への頻回なランチピクニックなど、利用者が外で過ごせる機会を持てるよう取り組み、機能継続を図ることを旨としています。本年度は新たに、障害のある中学生3名を職場体験として受入れ、利用者にも新たな関わりができています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	会社の運営理念を理解・実践するために、毎朝朝礼にて唱和している。	法人理念のほか、法人の年度ごとの目標を受けるかたちでユニット毎に全員で話し合い、職場理念を作り、毎朝の朝礼で唱和しています。職員異動にもスムーズに対応するために、常に振り返る原点として理念を位置付けています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域とのつながりを深められるよう、納涼祭や地域の防災訓練等に参加しているが、事業所の行事等に地域からの参加が不十分な為に、もっと参加を促す。	知的障害の生徒の職場体験を受入れ、利用者とのリレーションも好評で、毎年定期的に行っていきたいという話も上がっています。祭りの御輿立ち寄りや、民生委員主催の「ほほえみの会」に毎月参加が叶い、地域の一員としての地位が確立しつつあります。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議にて、ホームの状況を出席者の地域の方に知らせているが、地域に対しての広報活動が不十分である。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族、地域の方々に参加いただき、取り組みや行事等の報告を随時おこなっている。	運営推進会議には、家族のほかに多様な参加者があり、年に6回開催しています。前回は6家族も参加があり、事業所の声掛けが成果として実りつつあります。民生委員の呼びかけで「ほのえみ会」への参加も叶い、利用者は出掛けるのを楽しみにしています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者に、運営推進会議の議事録を提出している。	運営推進会議に市職員の参加は叶いませんが、議事録は直接届け、着任3ヶ月の管理者はすでに数回訪問し報告や相談をしていて、密な関係作りにより積極的な姿勢が覗えます。市主催の会合で情報交換したり、介護相談員の受入など協力関係が築かれています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアル・施設等での勉強会にて、身体拘束をしないケアの理解は深めているが、玄関の施錠は常にでなく、これからの課題である。	玄関施錠は状況に応じて行っていますが、ユニット入口の施錠はしていません。身体拘束の外部研修にケアマネージャーであるユニットリーダーが参加し、内部研修で話し合っています。職員からの意欲ある質問もあり、管理者が実践的な説明をする場面もあります。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者が事業所内での、虐待については注意を払い、防止に努めている。虐待についての、勉強会等ははまだ実施されていない。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度については、個々には機会があり聞いていると思うが、会議等で勉強会の機会等を設けていきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に、十分な時間をかけて説明して、納得して頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議での、意見や定期的なご家族様アンケートの結果を反映している。	法人の満足度調査で家族の率直な意見が聞けていて、改善点と今後の取組み内容が玄関に掲示され、家族にも書面で通知し周知されています。家族と話しやすい環境を整え、隠れていた利用者情報が発見されるなど、信頼関係が深まっています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各ユニット会議、全体会議と月に2回の会議を実施して、職員の意見をきいている。個別の面談も定期的実施。職員アンケートを、会社として実施している。	本部からの職員アンケートや個別面談も実施されていて、職員意見を吸い上げる仕組みがあります。全体会議では、ベッドでの転倒防止のためにマット上に布団を敷いたなどといった試行錯誤を経ての改善策が出されていて、運営に活かされています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年1回のスタッフの評価を行い、個別面談を実施。勤務状況、職場環境・条件の整備に努力している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内での、全体会議等での勉強会の実施や、職員へのその都度気になることへの助言・指導を実施している。法人内外の研修に参加する機会を持てるように勤めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホームと互いに見学等の交流の機会をもっている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	訪問・面接時に、ご本人・ご家族様からの話に耳を傾けながら、アセスメント表を使用して、利用者様の安心を確保するための関係作りを実施している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様と始めて会う時にも、ご家族様のお話をしっかり聞き、不安や要望等に応えられるように常につとめている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人・ご家族様の、必要としている支援を見極めた対応のお話をしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活において、お互いの信頼関係の中で、ご利用者に寄添いながら暮らしを共にしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月1回の通信にて、ご利用者の状況をつたえている。ご家族様の面会時には、職員からいろいろな情報を提供し、提供していただける関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	通いなれた病院への通院等を行い、なじみの人や場所との関係が途切れないよう支援している。	以前からの趣味であった卓球を続けていたり、好きだったラーメン屋に行ってみたりする利用者、また馴染みの美容院への付き添いも行われていて、本人の意向や嗜好が活かされた支援が行われています。一時途切れていた職員の買い物への同行も復活しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様が、みんなで集まれるように誕生会等の行事を多く行い、利用者様同士の関わりを持てるように支援している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用者様・ご家族様との、関係を出来る限り大事にするようにつとめている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の生活の中で、ご利用者と話をすることで把握しようと努めている。今後も変化を見逃さず把握に努めて生きたい。	部屋のレイアウト変更やエアコンの音が気になるなど、自分の意向を伝えられる利用者も多く、希望にすみやかに応えています。入浴のリラックス感から過去の思い出話が溢れ、意向把握に繋がることもあります。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前、アセスメントにてご利用者からの聞き取り、ご家族様を通して情報収集をしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日報・介護記録・アセスメントシート・介護計画により、情報の共有に努めている。アセスメントシートの、更新を継続して暮らしの把握に努める。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護記録、アセスメントシート、他職員の意見を通じて、現状を把握しながら担当者会議により意見を収集している。	日頃の面会時のほか、担当者会議にも参加してもらい、家族の意向を反映させています。日々の記録である「状況確認・発見シート(アセスメントシート)」を活用し、ユニットごとに計画作成担当者がプラン作成し、ケアマネージャー及び上位者がチェックし運用されています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の日報、申し送りノート等を活用して情報共有を図り、ユニット会等の実施により介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	アセスメント、担当者会議に応じて個別サービスを実施し、柔軟な支援に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の行事や、後援へ散歩にでかけている。また、近隣の飲食店、カラオケなどに歩いていける距離にあり活用している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	近隣のかかりつけ医と事業所の関係を築き、往診・主治医になっていただき、良好な関係を構築している。ご家族の協力のもと、その他の主治医へは通院介助等により、健康管理に努めている。	従来のかかりつけ医の場合は家族にお願いしていますが、無理な場合は職員が支援しています。協力医の往診は月1回、また訪問歯科は毎週あり、評判も良く変更する利用者もいます。大半の利用者は事業所のケアマネージャーである看護師が受診支援を行っています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療面に関しては、看護師に相談し情報の共有を図り、状況に応じて受診等につなげている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関 袋井市民病院、その他近隣の医療機関との情報交換等実施している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化・終末期については、入居時に説明同意を得ているが、その後実際の対応時について話し合いの時間をもち、利用者様・ご家族様と方針を共有し、チーム支援に取り組んでいる。	前年は101歳の利用者の見送りがありましたが、今年の実績がありません。出来ること出来ないことを理解してもらった上で、医療行為が必要ない場合にはできる限り支援する考えであり、会議でも終末期への対応として、自分たちに出来るベストな方法を模索しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時・事故発生時の連絡体制は、マニュアルにて周知を図っているが、訓練については定期的に行っていない。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練にて、避難等の訓練を実施している。地域の防災訓練には、職員・利用者様が数名参加しているが、協力体制の訓練は行っていない。	年2回防災訓練を実施し、内1回は消防署の立ち合いで行っています。地域の防災訓練には利用者に参加し、存在をアピール出来ていますが、地域からの防災訓練への参加は無く、課題であると管理者は考えています。飲食物の備蓄はあり有事にそなえています。	AED講習会などを企画し、協力体制が築かれることを期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様への十分な言葉かけや対応をしているつもりだが、まだまだ十分とはいえない。勉強会や、指導を継続していきたいと思う。	法人本部からのマニュアルも完備されていますが、毎月の全体会議の中で接遇や倫理観、またプライバシー尊重の勉強会を行い、トイレや入浴でのプライバシー確保には特に配慮しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の、コミュにケーションから利用者様の希望を聞くことにより、実現できるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務優先でなく、できるだけ利用者様のペースで、その日を過ごしていただけるように、支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人に、洋服を選んで着ていただいたり、化粧や髪を梳かしたり、髭を剃ったりと支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の、好みの物を取り入れている。食事の下ごしらえのお手伝いもお願いしている。メニューを、書き写してお知らせしている。	食事前に除菌、メニュー説明がありました。メニューは本部の管理栄養士が月刊予定で作成しています。厨房に入って手伝う力量のある利用者もいます。おやつには菜園の薩摩芋が活用され、収穫の喜びとともに昔懐かしい味を楽しんでいます。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お食事等のチェック表にて、一日の摂取量等の把握により、利用者様一人ひとりの状態に応じた支援をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	全員の、毎食後の口腔ケアとしては実施できていないが、夕食後は全員に実施している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を活用して状態の把握を行い、出来る限り自立にて排泄できるように支援している。	排泄チェック表を活用して声掛けをしたり、夜間帯はパターンを把握しての誘導で失禁が無くなるなど、自立に向けた支援を心がけています。自宅でのリハビリ利用が入所後、布パンに代わり自立出来た利用者もいて家族の経済的負担軽減に繋がった例もあります。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	利用者様の、状態に応じて水分摂取や体を動かす機会を設け、便秘予防・解消を支援している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	利用者様の、希望を踏まえた入浴の支援をしている。声掛けをするための入浴日は、決めている。	最低週2回は入浴が出来ていて、毎日希望にも対応可能ですが希望者は現在おりません。入浴剤や家族からいただいた差し入れの柚子で季節湯を楽しんでいます。マンツーマン介助でゆっくり話が聞けていて、個別に3本のタオルが用意されているなど衛生面の配慮があります。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個人の生活習慣に合わせて入室時間、起床時間は考慮した支援をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様の服薬一覧表を使用して、内服薬の周知に努めている。薬の飲み忘れのないように、個人チェックの支援をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様個々に応じた役割や楽しみなどを提供。各担当職員を設け、職員間でもアイデアや話し合いを持ち支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩等は、天候や体調をみながら日課としておこなっている。外出についても、出来る限り実施している。	屋外豚汁パーティーやマーケットでの買物、すぐ前の公園に食べ物持参のピクニック、近くにあるカラオケハウスに行くなど気軽に外出できる機会と資源を活用しています。行きたい時にいつでも行ける支援を目指したいと管理者は考えています。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	事務所、金庫にて管理している。外出時や受診等で、お金が必要な時にお金を所持するように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様で、本人自ら電話をされる方への支援はおこなっている。また、家族へのクリスマスカード、年賀状作りの取り組みへの支援も行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様が、生活感や季節感を感じられて、居心地よく過ごせるような生活の場としての雰囲気作りをおこなっている。	職員の顔写真と併に玄関には季節の生花の出迎えがあり、共用空間にも一輪ざしの花が存在感を誇っています。温度湿度計で居心地良さが管理され、天窓からの採光や畳の部屋、大きな掃きだし窓の存在が落ち着ける雰囲気を醸し出しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングや廊下にソファを配置し、利用者様同士が交流を持てる居場所の工夫の支援をしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様との相談、協力によりご自宅で使用していた、家具などの馴染みの物を配置して、居心地の良い居室になる様に工夫している。	花の写真や趣味の卓球イラストが表札となり、入室に一瞬の優しさが湧きます。利用者を使い勝手がよいよう工夫されていて、馴染んだ居室感が伝わります。ベッド、エアコン、カーテンが備え付けで、ベッドは使い慣れた物の持ち込みもあります。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様が、自分の力を極力使って生活できるように、施設内のいろいろな所に手摺りが付いている・居室等が、わかるように工夫している。		